

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	骨・関節細胞のダイナミクスと免疫系の制御を包括した統合運動器学の確立
研究代表者	田中 栄 (東京大学・医学部附属病院・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、罹患者数の多い骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチなどの運動器疾患の病態について、マウス及びヒト検体でシングルセル解析などの先端的手法を取り入れて、自然リンパ球などの免疫系の関与を中心に分子レベルで解析するものである。</p> <p>骨や軟骨病変に対する免疫系細胞の関与を細胞レベルで解析することで新たな知見が得られ、新規治療法の開発につながることを期待される。</p>